



市民ホールを花で彩る

市役所本庁舎市民ホールで生け花展示

No.5

市役所本庁舎の市民ホールで、季節の花を生ける「生け花展示」が行われています。

この展示は、市内で華道の活動をしている「池坊会員」の有志の皆さんが、市役所を訪れる人に生け花を見てもらい、安らいでもらえたらとの思いで始めました。

会員の皆さんは、スイセンやレンギョウ、パンジーなど、季節に合った花を毎週交代で生け花にしており、市役所では年間を通して、生け花を楽しむことができます。

会員の木山元子さんは「市役所に来た際は、ぜひ生け花を見て、季節の花を楽しんでもらいたい」と話しました。



▲市民ホールに展示されている生け花

元気に大きく育て！

西城小トウモロコシの種まき体験・5/10

No.7

西城町油木地区でとうもろこしの種まきが行われ、西城小3年生19人が参加しました。

これは、子どもたちに野菜の種まきから収穫までの一連の作業を学んでもらい、食材の大切さを知ってもらうため、西城地区公衆衛生推進協議会と前油木営農組合の皆さんにより、毎年開催されています。

子どもたちは、同組合の高原芳典組合長からトウモロコシの種類や植え方について説明を受けた後、協力しながら種まきを行いました。

児童は「こんな大変な作業を毎年しているなんてすごい」「家でも農業の手伝いをしているけど、とうもろこしの種まきは初めてで楽しかった」と興奮気味に話しました。



▲地域の人と一緒に種まきを行う児童

吾妻山に春の訪れ

春の草花ウォッチング・5/3

No.4

新緑が美しい春の吾妻山で、比和自然科学博物館主催の「春の草花ウォッチング」が行われ、20人が参加しました。

参加者は4人のインストラクターの解説を聞きながら、吾妻山の麓と旧吾妻山ロッジ付近を歩き、草花の観察を行いました。晴天に恵まれた吾妻山では、「ダイセンクスミレ」をはじめとした、40種類以上の草花が確認でき、参加者は草花の種類の多さに驚いていました。

参加者は「ショウジョウバカマが伝説上の猿「猩々」に見立てて名前が付いたことなど、名前の由来の解説がとても面白かった」と話し、吾妻山の自然を楽しんでいました。



▲吾妻山で草花の観察を行う参加者

アレンジで作る芸術品

けんこうざ フラワーアレンジメント・4/22

No.6

総領自治振興区が「けんこうざ フラワーアレンジメント」を開催し、10人が参加しました。

けんこうざは、毎月1回開催している、心と体を元気にすることを目的とした講座です。当日は、総領町出身のフラワーコーディネーター大倉佳奈子さんが講師を務め、参加者同士で自己紹介を行い、好きな花を発表し合うなど、和やかな雰囲気で行われました。

大倉さんは、フラワーアレンジメントに適した花の種類や道具の使い方などを説明し、参加者は事前に準備されたアルストロメディアやガーベラなどの花を、真剣な表情で飾り付けました。

参加者は「同じ花なのに、作る人で出来上がりが違って、どれも個性的できれいだった」と話しました。



▲真剣な表情で飾り付けを行う参加者

日頃の感謝の気持ちを込めて

9周年祭「雪どけまつり」・4/23～24

No.1

道の駅たかので「サンキューベリーマッチ」をテーマに、9周年祭「雪どけまつり」が開催され、2日間で約1万人が来場しました。

このイベントは、道の駅たかのが施設の利用者と野菜や特産品の出荷者に、日頃の感謝の気持ちを伝え、お互いに交流を深める場として、毎年4月に開催されています。会場では、ジビエや雪室そば、スイーツなど庄原の逸品を販売する20店舗が軒を連ね、「働くクルマ集合コーナー」や「お楽しみ抽選会」の開催など、終日大盛況でした。

道の駅たかのの栗栖誠さんは「皆さんのおかげで9周年を迎えることができた。コロナ禍の中で苦労も多いが、いろいろと工夫して今まで以上に盛り上げていきたい」と意気込んでいました。



▲「働くクルマ集合コーナー」は本物のパトカーが登場

観光シーズンの幕開け

帝釈峡湖水開き・4/29

No.3

帝釈峡の観光シーズンの幕開けとなる「第54回帝釈峡湖水開き」が、神龍湖周辺で行われました。

この日は、最初に「帝釈峡遊覧船乗り場」で、帝釈峡の安全と繁栄を祈願する神事が行われました。その後、「トレイルセンターしんりゅう湖」で、サクソとエレクトーンの演奏や比婆荒神神楽などのステージイベントが行われたほか、地元食材を使ったフードブースも開設されました。

また神龍湖では、2隻の龍船が、紅白の煙を吐きながら大迫力で登場し、会場を盛り上げました。

来場者は「龍船が見れるのを楽しみにしていた。たくさんステージイベントも開催され、楽しめた」と満足そうに話しました。



▲紅白の煙を吐きながら登場した龍船



▲お楽しみ抽選会も大盛況



▲庄原の逸品を販売する出品者

手作り弁当を配達します

高齢者見守り配達弁当「まんてん弁当」・4/27

No.2

口和自治振興区は、自分で調理をすることが困難な高齢者世帯や、一人暮らしの高齢者などを対象に、月に2回、手作り弁当を配達しています。

これは、同自治振興区が実施している高齢者の見守り活動に合わせて、本年度から実施されているものです。

同自治振興区の配食サービス部の皆さんが、栄養とバランスを考えながら、旬の地元野菜を使った「まんてん弁当」を作り、それを各自治会の皆さんが配達しています。

配食サービス部の皆さんは「皆さんに美味しいと言われる弁当を作りたい」と話し、受け取った人は「旬の食材がたくさん入っていて、毎月楽しみにしている。とてもおいしい弁当をいつもありがとう」と話しました。



▲「まんてん弁当」を作っている配食サービス部の皆さん